

## マニラ首都圏地下鉄 CP102工区起工

オリコンサルグロー  
バルが施工監理担当

オリエンタルコンサルタ  
ンツグローバルが施工監理  
を担当する「フィリピン国  
マニラ首都圏地下鉄」のC  
P102工区の起工式が4  
月28日に現地で行われた。  
式典にはハイメ・バウティ  
スタ運輸大臣、二瓶大輔在  
フィリピン日本国大使館経  
済公使、黒沼健二国際協力  
機構（JICA）フィリピン

基調スピーチをするバウティ  
スタ運輸大臣（報道発表資料  
から）



事務所次長らが出席した。  
同社はこれまで、同国で  
複数路線の鉄道の計画や設

計、施工監理などを手掛け  
てきた。

マニラ首都圏地下鉄計画  
は、日本政府による政府開  
発援助（ODA）資金で実施  
されているプロジェクト。  
延長34キロで、2028年の  
開業を目指して工事が進  
む。マニラ首都圏は経済の  
急速な発展と一極集中によ  
り、交通混雑の悪化が課題  
となっている。フィリピン  
政府はこの対策として、首  
都圏で大型都市鉄道事業を  
集中的に実施している。